

充電小屋（という看板の情報オアシス的な建物利用）

概要

一言で言うと「町家という日本的な空間を利用して諸々のサービスを利用できる観光案内所兼休憩所」スマートフォンが充電できる、というのは利用者に来てもらうための看板の一つにすぎず、観光客の皆さんその他諸々のサービスを利用できる。しかしこちら側にとっての目的は『高山へ旅行に来た方々の意見、感想を集める場所』である。

対象

今回のコンテストの題材となっている空き家はどれも高山の主要観光スポットに隣接するような立地条件にあるので、利用対象者は観光客、国内、国外を問わないが、主には外国人の方々を想定。

目的、内容

旅行者の方々は様々なサービスを利用するために来られる。こちらは、休んでもらっている間に会話やアンケート等を通して、「高山に来てみて感じたこと、よかったところ、不便を感じたところ、改善して欲しいところ」などを聞いて、高山をさらによりよい観光都市にしていくための情報を集める。

利用できるサービス内容

- * スマートフォン、タブレット等の充電
- * 茶屋的サービス（基本的にはセルフサービス）
- * wi-fi
- * 据え付けインターネット端末の利用
- * 高山の各史跡や観光スポットの紹介
- * 小さいお子さん連れの利用者のための休憩スペース等
- * （大きな）コインロッカー etc...

建物とスタッフ、運営について

建物は基本的には元の空間のまま利用するが、オムツを替えたり授乳のためのベビールーム、車イス、高齢者の方々のためのバリアフリー化はした方がよい。外国人の方々の為に通訳がいるとよい。

スタッフ

- ・案内する責任者の方
- ・通訳ができる方
- ・高山の観光案内ガイド（シルバー人材活用）（休日、繁忙期）
- ・外国人と接する機会を希望する中、高校生（休日、繁忙期）

基本的にサービスは無料であるため、民間でやるよりも高山市で運営した方がよいと思われる。

最後に

もしもこういった施設が実現した場合、旅行者や高山市にとってお互いに利益があるにとどまらず、協力してくれた中高生が、もっと広い世界に目を向けるきっかけになったり、年配の方々の知識や経験を活かせる場になったらよいと思うのです。